

樫谷議員 おはようございます。通告してありました3点について質問をさせていただきます。まず未納金の今後の回収の道筋はについて質問いたします。市町村税の徴収率は、徳島県は全国で36位の92%、市町村民税は14位の94.7%、個人町村民税は所得割プラス均等割でございますが、15位の93.7%、固定資産税では何と38位の89.6%となっています。なかなか100%にはいかない現状があるようですが、県は「県下一斉徴収強化月間」を設定し、県と市町村が連携した徴収対策を実施し、徴収率の向上を図るとともに、地域社会に滞納を許さない気運を醸成し、新規滞納の抑制を図っています。そこで、わが町、牟岐町では、どのような現状であり、今後の取り組みとして、どのようにするのか、また、前年度に比べ新規滞納は増えているのか、未収金の滞納はどれくらいあるのか、さらに、税金だけではなく、水道料金や公営住宅、その他の未納金は現在どれだけあるのか。個別にお聞きいたします。また、5年の時効は今後も続くのか、5年の時効を迎える間に十分な過程を行っているのか。滞納処分の停止とする、あるいは、欠損とするまでの徴収事務の流れについてお聞きいたします。つぎに海部総合センター（解放同盟事務所）の地下タンクの処理状況と現在の使用の現状について、お聞きいたします。この件については、前にもお話ししたと思いますが、事務所の地下タンクがありますが、今、現在の現状はどのようになっているのでしょうか、お聞きいたします。国、県も近い将来、来るであろう南海トラフ大地震、三連動の地震を最小限に食い止めるべく対策がなされているところですが、牟岐町としても海部病院の高台への移転、小中、保育所のより安全性を求めて移転を実施しています。町内の民間の地下タンクについては、新しく設備を整え済みであります。地震、その後に来る津波、そして何よりも、東北・阪神大震災のような地震津波の悲惨な状況を軽減するためにも、地震火災のきっかけにならないよう海部総合センターの地下タンクに燃料が残っていたなら、大きな災害になりかねないのではないかと、この質問をしています。一度指摘したと思いますが、その後の処理はどのようになっているのでしょうか、空になっているのでしょうか。砂なんかで既に埋めてしまっているのでしょうか。それとも現在誰か使っているのでしょうか。事務所として使われていないようですが、現在の使用状況も含めてお聞きいたします。つぎに町長選に向けて町長の出処進退はについてお聞きします。町長は当選以来、この4年間、町の行政分野はもちろんのこと、町の活性化に向けて再生会議を設け、広く各分野の意見に耳を傾けてまいりました。そして、地域おこしの人材の発掘や少子高齢化に立ち向かい、牟岐町の創生・再生に取り組んでまいりました。失敗もありましたが、失敗を恐れず邁進してきた4年間であったと思います。出羽島の伝建による文化財の取り組みも何とか町活性化に向け人口減少に

つながる取り組みはないものかと尽力されてきました。故郷の良さを活かし、私たち先人が残してくれた大きな財産、出羽島の伝建文化財や海部病院もまだ志なかばですが、来年春に任期が切れます。そこで、次期町長選に向けて、町長の出処進退をお聞きいたします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 檜谷議員のご質問にお答えいたします。まず税・水道・家賃等の未納金の滞納状況でございますが、税や家賃など一般会計分で15,000千円余り、国民健康保険会計分で21,000千円余り、介護保険特別会計分で10,000千円余り、後期高齢者医療会計で100千円余り、上水道事業分で28,000千円余りでございます。詳細は、それぞれ平成25年度歳入歳出決算書に記載されていますので、ご確認いただきたいと思います。また、5年の時効カット、いわゆる不納欠損処理でございますが、全て機械的に処理しているのではなく、悪質なものと額の大きなものは、市町村の税の徴収の専門機関でもございます、徳島県滞納整理機構に徴収を委託し、あるいは、法的に時効をできるだけ遅らせるような措置を取りながら徴収に努めているところでございます。つぎに海部総合センターについては、担当課長からお答えいたしますので、私は次期町長選の出処進退についてお答えいたします。平成23年4月の町長就任以来、近い将来必ず来ると言われている南海トラフ地震に対する防災、減災対策について、また、牟岐町の活性化について、私なりに全力で取り組んでまいりました。しかしながら、全ての事柄に一長一短があり順風満帆に事が運んでいるわけではございません。いくつかの重要な懸案事項が残っており、引き続き課題解決に向け取り組んでまいりたいと考えています。その重要懸案事項のいくつかをご説明いたしますと、まず海部病院の移転について、津波に安全な高台への移転が可能となったことは大きな成果でございますが、一方、財政負担と跡地利用が新たな課題として残っています。つまり海部病院を高台移転していただくにつき町が用地提供を約束したため、その用地費と造成費を町が負担することとなっております。私は、常時の救急患者の受け入れ先として、民間病院より継続性の高い公立病院は、町の存続のためにどうしても必要と考えています。また、来るべき南海トラフ地震では、災害対応病院として多くの助かる命を助けていただけると信じています。私は、県にとっては、医師の確保や患者数など運営上の都合だけを考えれば、美波町への移転が有利であったと考えていますし、両町とも現在の病院経営に多大な負担をしていることから、海部病院が牟岐町で改築するのであれば、やはり牟岐町として、最大限の努力をする必要があると考えています。したがって、これにより、将来的には、町に少なからぬ負債が残りますが、今後と

も、出来る限りの行財政改革を行い、その責任を果たして参りたいと考えております。この行財政改革も私の重要な懸案事項でございます。また、平成28年度中には、病院が開業する予定でございますが、残された現海部病院施設の利用が、今後の大きな課題となって参ります。海部病院は津波に安全な高台に移転したものの、牟岐町の中心が空き家になり寂れてしまっただけでは困りますので、何とか徳島県にもご尽力いただき、牟岐町の創生のためにも、現海部病院施設の有効活用に全力を傾注して参りたいと考えています。また、地方創生のため、皆様にご協力をいただき、活性化センターを設置いたしました。地域おこし協力隊も未だ十分に機能しているとは言えません。本定例会の所信でも申し上げましたように、一次産業の再生のため、また「保養と健康の町」牟岐町の創生に向け、最善の努力を続けて参りたいと考えています。また、出羽島を、今後とも島民の方が元気で快適に暮らせるような、牟岐町の貴重な財産として残すため、重要伝統的建築群の指定を目指し努力を続けていただいておりますが、未だ指定が確定していません。何としても出来るだけ早く指定を受け、鋭意、主要な施設を改修していくなど、島の存続に向け取組んで参りたいと考えています。以上、縷々ご説明いたしましたように、残された重要な課題解決の道筋が見えるまで、微力ながら全力で町長としての責務を全うしたい、と考えておりますので、ご理解いただけますよう、よろしくお願いたします。

杵富議長 久岡住民福祉課長。

久岡住民福祉課長 私の方から、樫谷議員の質問2つ目の海部総合センターの地下タンクの現状と使用状況について、ご説明させていただきます。今回、ご質問ありました地下タンクなのですが、設計書で見えますと、地下貯油槽とあって、油が入っている槽でございます。容量については、1.9tとなっていました。現状がどのようになっているのか確認してまいりましたが、マンホールが錆びていたのを開けまして、中を見たのですが、配管しか見えない状態で、重油だと思うのですが、燃料が残っているか残っていないか目視できない状況でした。たぶん2層になっていると思います。私達素人では確認ができませんので、センターの管理主体、町村会の方に話しを持っていって来ました。管理していただいているということで、本日業者の方を呼んで見てもらうと、たぶん冷暖房用の重油ですので、今後、あの施設を使う、使わないの決定もございしますが、今のところ安全を第一優先にして燃料を取り除いて埋め戻してしまうという形で考えています。先ほど、今後の状況にも係わるのですが、管理が最初建てた時に6町村の施設だということで、

牟岐町に打診をしたということなので、管理自体が町村会にお願いしているところがございます。今、近隣住民から障子が破れているので何とかして欲しいという要望などがありまして、町村会の方で障子の貼り直しについては完了しています。ただ現在、部落解放同盟の海部ブロック協議会の方にお貸しするという事になっているようです。郵便受けの整理と時々風通しに開けているというような状況とこのことを聞いています。施設の中の部屋を使っているのは今のところ見受けられないという状況です。冷暖房にしても今のところ必要ないということで、地震に備え危険があったら困りますので、早急に対処したいと考えています。以上でございます。

枅富議長 宮内税務会計課長。

宮内税務会計課長 榎谷議員の新規滞納者が増えているのかという件について、お答えいたします。平成26年度におきましては、まだ年度途中のため納期も到来している、いない分もございますが、新たな滞納を生み出さないように迅速な督促、催促、訪問徴収を行うとともに来庁要請をして納付計画を立てるなどの方策を講じながら完納に向けての取り組みを強化していきます。それと、これまでの経過でいきますと、新規滞納については、殆ど変化はございません。殆ど変っていない状況です。以上です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問させていただきます。海部総合センターの地下タンクについては、今後きちっと処理をするということですが、使い道については、今後、全然使わないという方向でいくのでしょうか。今現在、まだ電気は流れているような状況があるみたいですので、誰か住まわれているということはないですね。そういうことと、未納の件ですが、過去に県の税理担当課への要望とか、そういうようなのをして、一緒に何かした経緯があるのでしょうか。その効果はどんなのでしょうか。その件と、今、答弁にありましたように、73,000千円あまりの欠損があるということですので、その滞納も含めて、今後、どのようにしていくのか、2点について再問いたします。

枅富議長 久岡住民福祉課長。

久岡住民福祉課長 1つ目、住んでいるようなというのは。

樫谷議員 電気が流れている。誰かが住んでいるのですか。使っているのですか。全然使っていない。

久岡住民福祉課長 使っていません。

樫谷議員 分かりました。今後も使う予定はないのですか。

久岡住民福祉課長 今のところ、ブロック協議会の方に貸しているという状態ですので、他に使うということはしていません。

枅富議長 宮内税務会計課長。

宮内税務会計課長 先ほどの県と共同で何か事業をしたかどうかということで、1点目としては、徳島滞納整理機構という組織がありまして、そこに高額な滞納のある方については移管して、それで効果的な徴収実績を上げています。もう一つは例年県と一緒に共同サイクルと言いまして、県知事と町長の名前で共同で催告をすることも行っています。これも県の名前があると、両方の連名ですることにより徴収の効果が上がっています。以上です。

枅富議長 樫谷議員。

樫谷議員 どうも再問に続き答弁ありがとうございます。町長については、今後の春の出馬するというので、よろしいでしょうね。

福井町長 はい。

樫谷議員 これで私の一般質問を終わります。